

道德科の質的向上への手立て ～教科書の工夫と評価の見直し～

平成30年度から始まりました「道德科」は、6年目を迎えています。(中学校は平成31年度からで5年目)当初、新たに無償配布となった教科書の定着を図るために、まずは量的拡大を目指すということが大きく掲げられておりました。

そして現在、次段階の質的向上へと力を注力していく時期になっており、「教科書」の工夫をキーワードとして、授業づくり、評価の在り方を意見交換し、一人一人の段階を踏まえた指導力の質的向上について討議いたしたく存じます。(8月8日の内容について)2日目は、12年ぶりに改訂されました「生徒指導提要」を特別に取り上げ、その理念から現場における活用方法まで、幅広く研修をいただく場といたします。



令和5年 **8月7日(月)～8月8日(火)**

主催：公益財団法人上廣倫理財団

会場：日比谷図書文化館
B1F コンベンションホール

参加者：150名(先着順)

参加費：無料



千代田区立日比谷図書文化館
(東京都千代田区日比谷公園1-4)

〈スケジュール〉

7日

- 10:00 開館・受付開始～
- 10:30 開会
- 10:40 提言1(60分)
- 11:40 休憩
- 12:50 提言2(60分)
- 13:55 提言3(60分)
- 14:55 休憩
- 15:15 シンポジウム(75分)
- 16:30 終了

8日

- 10:00 開館・受付開始～
- 10:30 開会
基調講演(70分)
- 11:45 休憩
- 13:00 シンポジウム(105分)
- 14:45 終了

詳細は裏面をご覧ください

7日

シンポジウム

道徳科の質的向上への手立て ～教科書の工夫と評価の見直し～

10:40～ 提言1

早川 裕隆氏

上越教育大学教授
上廣道徳教育アカデミー所長

千葉県公立小学校教諭、教頭等を経て、2013年4月より現職。文部科学省教科用図書検定調査審議会臨時委員(2015年から現在)。著書に、『体験的な学習「役割演技」でつくる道徳授業」(編著 同じく明治図書 2017年)など。

13:55～ 提言3

永田 繁雄氏

東京学芸大学教授



静岡県に生まれる。平成14年1月より文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。平成21年4月より現職。「道徳授業の新しい展開」(共著・小学館)「小学校道徳 板書で見る全時間の授業のすべて」(編著、東洋館出版)「道徳科」評価の考え方・進め方」(編著 教育開発研究所)「小学校道徳指導スキル大全」(編著、明治図書)等著作多数。

12:50～ 提言2

谷田 増幸氏

兵庫教育大学教授



広島市中、高等学校教諭、教育センター指導主事を経て、平成18年より文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。平成22年より現職。専門領域は、道徳教育、公民科教育。日本道徳教育方法学会(会長)編著・共著に「新中学校道徳指導細案」(明治図書 2010)「戦後道徳教育を築いた人々と21世紀の課題」(教育出版 2012)「特別の教科 道徳」が担うグローバル化時代の道徳教育」(北大路書房 2016年)等多数。

15:15～ シンポジウム

上地 完治氏

(コーディネーター)
琉球大学教授

広島大学教育学部教育学科卒業。広島大学大学院教育学研究科博士課程後期単位修得退学。修士(教育学)。「沖繩で教師をめざす人のために」(共編著、共同出版 2015)「特別の教科 道徳が担うグローバル化時代の道徳教育」(共著、北大路書房 2016)「道徳教育の新しい展開」(共著、東信堂 2009)「教育的思考の作法—教職概論—」(共著、福村出版 2006)「道徳科 Q&A ハンドブック」編著者。日本道徳教育方法学会理事。日本カリキュラム学会理事。

8日

講演・シンポジウム

新しい生徒指導提要の学びと、
道徳教育や学級経営を考える小学校段階から高等学校段階までの生徒指導の
理論・考え方や実際の指導方法の基本書される
「生徒指導提要」の研修を実施します。

10:35～ 講演

山下 一夫氏

(シンポジウム指定討論者)
鳴門教育大学参与

1953年、大阪市生まれ。京都大学教育学部卒業、京都大学助手、鳴門教育大学講師・助教授・教授・副学長・学長を歴任。専門は臨床心理学・生徒指導学。学術博士・臨床心理士。文部科学省「生徒指導提要の改訂に関する協力者会議」委員をつとめる。著書、共著に「カウンセリングの地と心」(日本評論社 1994)「生徒指導の知と心」(日本評論社 1999)日本臨床心理士会編「臨床心理士の基礎研修」5講「学校臨床における基本姿勢」(創元社 2009)など多数。

13:00～ シンポジウム

阿形 恒秀氏

(シンポジスト)
千里金蘭大学教授

学校法人金蘭会学園 千里金蘭大学 教授、国立大学法人鳴門教育大学 名誉教授。1956(昭和31)年大阪生まれ。主な著書は、共著、2015年「現代生徒指導論」学事出版、2021年「教育臨床の視点に立った生徒指導」学事出版、また、広島県「いじめ問題調査委員会」委員長(2023年～)大阪府「堺市いじめ重大事態調査委員会」委員長(2023年～)などを務める。

13:00～ シンポジウム

鈴木 賢一氏

(シンポジスト)
愛知県弥富市立十四山東部小学校教諭

明治大学大学院文学研究科修了。愛知県の公立中学校に国語科教員として勤務。現在は、小学校教諭。日本道徳教育学会・日本道徳教育方法学会所属。雑誌「道徳教育」(明治図書)での実践報告、執筆者として「インクルーシブな道徳科授業づくり 個別最適な学びの実現」(明治図書 2021)「教材研究×道徳 定番教材の外せないポイントがわかる超実践ガイド 小学校・中学校」(明治図書 2023)など執筆多数。

13:00～ シンポジウム

谷田 増幸氏

(コーディネーター)
兵庫教育大学教授申込み先
問合わせ

参加希望者は、下記Eメール、FAX、郵送にて氏名、所属、連絡先を添えて当財団まで申込み下さい。もしくはQRコードからフォームで申請下さい。

公益財団法人 上廣倫理財団「道徳教育シンポジウム」係 担当：上田博次 宛

〒102-0075 東京都千代田区三番町6番地3 Tel.03-3261-8711 Fax.03-3261-8747

E-mail doutokuka@rinri.or.jp ホームページ <https://www.rinri-form.jp/doutoku-movie/2023form/>

公益財団法人 上廣倫理財団「道徳教育シンポジウム」参加申込票

年 月 日

フリガナ		フリガナ			
ご芳名		学校名 (勤務先)			
E-mail		参加 ○でお困りください	両日	7日のみ	8日のみ